

# 道徳学習指導案

指導者名 岡田 修一

- 1 学年 第1学年 3組
- 2 主題名 集団生活の向上  
C- (15) 「よりよい学校生活・集団生活の充実」
- 3 ねらい 席がえで起こった問題点を考えることを通して、利己心や狭い仲間意識を克服し、協力し合って、集団生活の向上に努めようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- 4 教材名 「席がえ」  
(出典：『中学道徳1 明日をひらく』 東京書籍)

## 5 主題設定の理由

- 人間は一人では生きていけず、様々な集団や社会の一員として生活をしている。その集団生活を向上させるためには、各自がその成員としての役割と責任を自覚して、勝手な行動を自制できるようになることが求められる。それを支えるものとして、助け合い、励まし合う豊かな人間関係を築いていくことが大切である。また、互助の精神が培われてこそ、成員一人一人の集団への帰属意識も高まり、自己有用感を体得していくのである。自分が所属する集団にのみ関心を寄せ、自分たちの利益のみを追求し、自分と関わりの薄いと思われる集団や成員に対して無関心になってはいないか省みることが必要と考え、本主題を設定した。

- <個人情報保護のため省略>

- クラスの席がえは、友人関係が生活の大きな要素である中学校1年生にとって非常に関心が高い。本教材では学級の席がえで、ルールに従って席がえを行うべきところを勝手に席を移動している人がたくさんいた。副委員長である「私」は、みんなで決めたクラスの決まりは勝手に変えてはいけないという考えから、再度の席がえを提案する。自分勝手な行動は誰かを不愉快な思いにさせたり、学級の秩序を乱したりすることにつながる。席がえの意義を主張して直させることについて考えることを通して、集団生活を向上させるために大切なことは何かをじっくり考えさせたい。

本教材と同様の体験は多くの生徒がしており、生活に密着した教材である。導入では、学校生活で楽しかった行事のアンケート結果から、みんなで楽しく活動するためにはルールを守ることが必要であることを確認し、主題への方向付けを図る。また、現在、学級内の生徒同士の力関係がはっきりしつつある。そこで、様々な立場に立ち、他者の心情を多角的、実感的に考えさせるために、ロールプレイングを取り入れる。そして、ロールプレイングを通して、どのような気持ちになったかをグループ内で意見交流し、中心発問につなげたい。中心発問の場面では初めに、席がえを「やり直す」、「やり直さない」という生徒一人一人の考えを明確にさせ意見交流をすることで、その理由を含め多様な考えを引き出したい。そして、集団生活の向上のために自分のできることを考えることで、集団生活において一定のルールは必要であるが、ルールを守るだけでなく、他者の立場に立って考えることが大切であることに気付かせたい。

6 学習指導過程

	学習活動	発問□ 及び予想される反応（・）	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に関するアンケートの結果を聞く。</li> </ul>	<p>楽しかったことの原因で共通しているものは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力して活動した。</li> <li>他学年との交流。</li> <li>自分たちで考えて行動できた。</li> </ul>	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>&lt;主題追求課題&gt;                      集団生活を送るうえで大切なことはなんだろう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読む。</li> <li>・状況の確認をする。</li> <li>・席がえを終えたときのそれぞれの気持ちをロールプレイを通して考える。</li> <li>・ワークシートに気持ちを書く。</li> <li>・グループで意見交流をする。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>席がえを終えたとき、クラスみんなの気持ちはどうだったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」・・・またルールが守られていない。 勝手に腹が立つ。 注意したら嫌われるかも。</li> <li>・「かえてもらった人」・・・ 近くなれてうれしい。 お互いが納得すればよい。 ばれなければよい。</li> <li>・「譲った人」・・・ いやな気持ち。 強く言われると断れない。 断ると嫌われるかも。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は教師が範読する。</li> <li>・ストーリーを追いながら状況確認をする。</li> <li>・ロールプレイング時、「私」の「勝手に席を替わらないでください。」の台詞をスタートとし、その他の言い方は任せる。</li> <li>最終的に席をかわる、ということを伝える。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・席がえをやり直したことについて考える。</li> <li>・自分で考える。</li> <li>・グループで交流する。</li> <li>・意思表示をする。</li> <li>・全体で交流する。</li> <li>・他の人の意見を聞いた後、再度自分で考える。</li> <li>・クラスをよりよくしていくために自分ができることを考える。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あなただったら、席がえをやり直すかどうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公平に席がえができたのでよかった。</li> <li>・いやな思いをする人がいなくなったのでよい。</li> <li>・自分の好きな人と近くなれないのでよくない。</li> <li>・やり方が他にもあったのかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり直した、やり直さなかったという意味表示を最初にさせる。</li> <li>・補助発問としてやり直したという意見に対して「不快に思っている人にはがまんさせるの？」と問う。</li> <li>やり直さなかったという意見に対して「みんなが都合がよければ、きまりを守らなくてもいいと思ったことはない？」と問う。</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これからクラスがよりよくなっていくために大切なことは何だろう？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、人に迷惑をかけない。</li> <li>・昼休みにそうじをしやすいように教卓をさげる。</li> <li>・席がえのとき、班内の席を決めるとき、みんなのことを考える。</li> </ul>	

終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説話を聞く。</li> <li>・振り返りシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活をよりよくしていこうと思えるような説話をする。</li> </ul>
----	--	--

### 7 評価

- 自分ことから集団のことへ考えを広げることができたか。
- 集団生活の向上に向けて、自分ができていることを具体的に考えていたか。

### 8 板書計画

**主題追求課題：集団生活を送るうえで大切なことはなんだろう。 席がえ**

**楽しかった理由で共通しているものは？**

- ・協力して活動した。
- ・他学年との交流。
- ・自分たちで考え行動できた。

それぞれの役の人とはどんな気持ちになったのだろう。

**あなただったら席がえをやり直したのか。**

- ・きまりを守ってないので。
- ・公平に席がえをしたい。
- ・いやな思いをする人がいるので。
- × ・好きな人と近くになりたいから。
- ・もう決まったことだから、かえなくてよい。
- ・みんなが納得していればよい。

**これからクラスがより良くなっていくために大切なことは何だろう？**

- ・決まりを守り、人に迷惑をかけない。
- ・昼休みにそうじをしやすいように教卓をさげる。
- ・席がえのとき、班内の席を決めるとき、みんなのことを考える。

The diagram illustrates the emotional and social dynamics of a seat change. At the top is a box labeled '私' (I). Below it are two boxes: '譲った人' (Person who gave up) on the left and 'かえてもらった人' (Person who got a change) on the right. Blue arrows connect these boxes to '私' and to each other.

- From '私' to '譲った人': かわいそう (Pity)
- From '譲った人' to '私': やり直してほしい (I want to redo it)
- From '私' to 'かえてもらった人': 腹が立つ 嫌われそう (I'm angry, I might be disliked)
- From 'かえてもらった人' to '私': 納得していればよい (It's fine if I'm satisfied)
- From '譲った人' to 'かえてもらった人': うれしい ばねなければいい (Happy, it's fine if it doesn't break)
- From 'かえてもらった人' to '譲った人': いやな気持ち 断れない 怖い (Unpleasant feelings, can't refuse, scary)

9 教材分析

主題名	集団生活の向上		教材名	「席がえ」	
ねらい	席がえで起こった問題点を考えることを通して、利己心や狭い仲間意識を克服し、協力し合って、集団生活の向上に努めようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。				
主要場面	「私」の心の動き	道徳的 価値等	気付かせたいこと	主な発問	
・6時限目の学級活動での席がえで、席がえのルールを確認と前回の席がえの反省をする。	・前回の席がえで、決まりを守らない人がいて不愉快な思いをした人もいた。 ・今回はルールに従って席がえをし、問題が起きないようにしたい。	誠実  きまりを守る	・ルールを守らないことで不愉快な思いをする人がいるということ。		
・今回の席がえでは、かなりの人が勝手に席を決め直し、自分と仲のよい人と並んでいる。	・勝手に席を決め直している人がかなりいて、ルールを守っていない。 ・自分の発言が無視をされた。前回と同じではないかと腹が立つ。	自分勝手 正義感			
・掃除の時間、私と委員長の宮本くんと2、3人での話をする。 ・委員長の「席がえのやり直し」の提案に賛成する。	・ルールを守らない人がいることに怒りを抑えられない。 ・委員長の意見に賛成したが、他のみんなが席がえの提案をどう受け止めるか不安である	正義感 不安	・みんなで決めたクラスの決まりはそう簡単に変えてはいけないものである。	・席がえを終えたときクラスのみんなの気持ちはどうだったのだろうか。	
・席がえをやり直すという情報を聞いた人たちが、やり直しに対し不満を言う。	・席がえの提案をしたら、みんなの反感を買うかも。誰も協力してくれないかも。 ・仲間外れにされてしまうかも。言わない方がいいのではないか。	不安 正義と妥協との葛藤	・ルールを守るためにはやり直しを提案したいが、リスクもあり、どうしようか葛藤していること。		
・帰りの学活の時間に席がえのやり直しを提案する。	・荒木さんのように分かってくれる人もいるはずだ。ここで言わないと、前回と変わらない。勇気を出して言おう。	信頼 勇気			
・みんなが不満の声をあげる。 ・席がえの意義を説明する。	・しっかりと席がえの意義を説明し、みんなに理解してほしい。	集団生活の 意義	・それぞれの立場の人がどんな気持ちなのか		
・結局、はじめに自分の引いた番号の席に戻り、不自由な人だけかわってよいことになった。	・なんとか、ルールを守って席がえをすることができた。	責任感		・あなただったら、席替えをやり直すかどうか。	
・この案に決定したときも、自分のわがままを押し通そうとした人が何人かいた。	・利己的な行動が多すぎて悲しい。みんなの心がばらばらだ。 ・今後このような人たちをどうしているか悩む。	利己的 集団生活 の向上	・一時的に不愉快な思いをすることがあっても、明るく楽しいクラスを作ることは、結局、みんなのためになる。	・これからクラスがより良くなっていくために自分なら何ができるのだろうか。	